

## 平成28年度(第32回)定時総会を開催

### — 熊本県の一日も早い、復旧・復興を！ —

京都熊本県人会の第32回定時総会が去る5月14日、京都市下京区のホテル日航プリンセス京都で行なわれ、会員をはじめ来賓の行政関係、関西熊本県人会、京都九州各県人会などの皆様、総勢80名が出席しました。

開会に先立ち、参加者全員で、熊本地震災害で亡くなられた方々や県人会の発展にご尽力いただいた物故者への黙とうを捧げました。

その後、内田憲幸会長が「熊本地震で多くの方が犠牲になり、避難生活を余儀なくされている方も数多くおられる中で、総会の中止・延期も一時考えた。しかし、こういう時にこそ会員が一堂に会し、色々な情報を交換する場を持つことが大切だと思い、本日の開催に至った」と挨拶しました。議事では事業報告や決算、事業計画・予算が承認された後、熊本地震に対する支援募金の状況報告やこれからの取り組みを協議し、その後、新役員や新会員が紹介されました。

続いて行われた講演会では、講師の宇津崎光代さん（一般社団法人日本住育協会顧問）が、「住育について」をテーマにお話しをいただきました。「教師から建築の世界に転職した波乱万丈の人生」「辛かった時の熊本の友人の言葉」「夢は実現できる」「家庭でのコミュニケーションの大切さ」など自らの人生を率直にお話しされ、参加者らは熱心に聴き入り感銘を受けていました。



第2部の懇親会では、来賓の祝辞や紹介の後、シャンソン歌手のムッシュ佐藤さんとマツハ文朱さん（元プロレス世界チャンピオン／上天草市出身）による歌声やトークが行なわれ、大きな拍手を送り、和やかに過ごしました。各テーブルでは、被害状況や支援策が話し合われて



いました。

また、会場には熊本地震災害義援金の募金箱が設けられたほか、前日の13日に行なわれた「ゼスト御池河原町広場チャリティコンサート募金」が、ムッシュ佐藤さんから贈呈されました。お預かりした募金は、県人会会員の振込募金などと併せて6月末に熊本県へ送金されます。